

第5回青谷地域振興会議（研修視察）議事概要

日時：令和元年10月25日（金） 午前9時30分～

場所：兵庫県新温泉町諸寄地区

視察目的：日本遺産北前船を地域活性化に活かすために
～兵庫県新温泉町諸寄地区の活動を学ぶ～

【出席委員】

高橋克己、前田孝行、久野浩太郎、奥谷吉男、長谷川和郎、濱江和恵、松岡礼子、
上田洋子、大石剛史 以上9名（敬称略）

【事務局】

（青谷町総合支所）

山本支所長、安達副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、

山口地域振興課課長補佐

（地域振興課）

小野主事

【日 程】

○諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員のガイド案内で諸寄地区内見学

10:30～12:20

主な見学場所：廻船問屋中藤田母屋、諸寄基幹集落センター資料室、八坂神社社務所
廻船問屋東藤田母屋

○諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員会との意見交換会

13:20～15:20

◎議事概要◎

【諸寄地区】諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員会は、自治会役員の区長1名と理事3名も委員に入ってもらい11名で文化活動や歴史を掘り起こす活動を継続してきました。日本遺産認定されてから拡大しようということで女性や若い世代にも加わっていただき27名で諸寄活性化委員会として活動を行っています。諸寄地区では、北前船が日本遺産に追加認定される10年以上前から、地域の方を対象とした北前船に関する学習会（講演会）を実施してきました。先人からの積み上げもあることや北前船とゆかりのある住民が多く、住民の北前船に対する意識はとて高かったです。日本遺産に認定された事を好機ととらえ、シンボルマークの作成やTシャツ等を作成しました。また、貴重な資料が散逸しないように、資料を収集しています。家宝は家宝として守っていただいておりますが、継承が難しくなった場合は、諸寄地区に提供していただき、地区の宝として保存していきます。集めた貴重な資料の整理を行っていくことが必要だと思っています。

【委員】 諸寄地区の世帯数や人口はどうか。

【諸寄地区】 約 400 世帯で、1200 人位です。

【委員】 同じ時期平成 30 年 5 月に諸寄も鳥取市（青谷町）も追加認定されましたが、諸寄は北前船への知識の土台があったうえで日本遺産認定になったところがすごいと思いました。青谷は日本遺産認定となって初めて北前船の歴史があることを知ったような状態ですのでスタート時点が違っていると感じています。

【委員】 日本遺産の追加認定に名乗りを上げる際に、反対意見などはありませんでしたか。

【諸寄地区】 北前船への理解があり反対意見は全くありませんでした。

【委員】 どのような組織で取組みされたのか、北前船の取組みについてどのように周知されていきましたか。

【諸寄地区】 軸になるのは、自治会です。いろいろな外郭の委員会を作っていますが、自治会役員の区長や理事の何名かは必ず委員会に入ってもらっていますし、「諸寄青二才」のグループや「漁協女性部の会」の方にも加わっていただくなど様々な人の意見を聞きようにしています。委員会から問題提起や事業を行いたいと要望しても、自治会の予算を付けてもらわないと何も出来ませんので、最終決定は自治会となります。また、自治会のみで対応できない場合は、自治会として行政へ要望していきます。充分行き渡っているかどうかは分かりませんが、年 2 回発行する区の広報誌や事業開催案内のチラシ・有線放送等で周知に努めています。

【委員】 まちづくり委員会というのは、諸寄地区に限らず他の地区にもありますか。

【諸寄地区】 諸寄だけの組織です。

【委員】 感想ですが、規模は違うけれどとても青谷と似ている所があると感じました。良港があり、両側に波止せがあり、川があり、神社が多いなどの点からよく似ていると感じました。ただ青谷の場合は、廻船問屋が何回かおこった大火により焼失し面影が無いのが残念です。諸寄は何カ所か廻船問屋の建物が残っていて資料もたくさん残っているので大変羨ましいと思いました。

【委員】 青谷はこれから取り組んで行くのですが、素材を点から線そして面に繋げていく手法があれば教えていただけませんか。また、学校教育の取り組みなどを行われているかどうかを教えてください。

【諸寄地区】 学校教育の方でいきますと、北前船が日本遺産になってから学校も以前から行っていたふるさと教育に俄然と力が入りました。北前船の授業があり講師として出かける事もありますし、子どもたちが夏休みに北前船の模型をつくるなど北前船に対する意識もかなり変わりました。人の気持ちを変えるのは直ぐに出来る事ではないので、長い年月をかけて講演会や学習会を開催して興味のある人を育てていくことが大切だと思います。諸寄では北前船を切り口としてまちおこしを考えてきました。まちおこしの切り口は地域によって違うと思いますが、人を育てる事から始まると思っています。

【委員】 これをしたら良いとか良かった等何かあればアドバイスをお願いします。

【諸寄地区】 日本遺産北前船の他の地域の取り組み等を知ることが大切だと思いますので視察等に出かけられるのも良いと思います。

また、諸寄では北前船の日本遺産認定はふるさとに誇りを持てる子どもを育てる機会ととらえています。諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員として、地域の肥しとなり、子どもを育てるという種まきが出来ればという思いで活動を行っています。この活動を通して将来の後継者、地域に残ってくれる人、盛り立ててくれる人を一人でも多く育てることが出来ればと思っています。諸寄がやっているイベントは外向けではなく全て内向けです。誰もがガイドが出来て初めて外に向けてイベントを行えると思っています。私たちもまだ手探り状態ですが少しずついろいろな事に取り組んでいきたいと思っています。

【会 長】 諸寄の取り組みを参考に、青谷でも一步一步進めていきたいと思っていますので、今後とも交流等を含めてご支援ご協力をよろしくお願いいたします。